

平成20年

4週8休型休市日試行に関する
アンケート調査（集計結果）
《 概 要 》

平成20年9月

東京都中央卸売市場事業部

【 目 次 】

I 平成20年3月アンケート

1 アンケート回収状況	1
2 売上への影響について (仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者)	1
3 経費への影響について	1
4-1 営業面からの4週8休の評価 (卸売業者・仲卸業者)	2
4-2 勤務面からの4週8休の評価 (卸売業者・仲卸業者)	2
4-3 4週8休の評価 (売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者)	2
5 勤務状況について (卸売業者・仲卸業者)	3
6-1 休市日の業務について (卸売業者・仲卸業者)	3
6-2 休市日の業務について (売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者)	3

II 平成20年6月アンケート

1 アンケート回収状況	4
2 売上への影響について (仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者)	4
3 経費への影響について	4
4 4週8休試行への評価	5
5 勤務状況について (卸売業者・仲卸業者)	5
6-1 休市日の業務について (卸売業者・仲卸業者)	6
6-2 休市日の業務について (売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者)	6

III 4週8休型休市日試行時の取扱高実績 (参考資料)

1 3月試行時実績	7
2 6月試行時実績	8

20年3月 4週8休型休市日試行に関するアンケート調査結果《概要》

1 アンケート回収状況

	水産卸	青果卸	水産仲卸	青果仲卸	水産買参	青果買参	水産小売	鮭商	関連	合計
回収数	9	14	450	338	164	2,354	413	20	108	3,870
対象者数	9	15	930	380	410	5,400	700	2,000	370	10,214
回収率	100.0%	93.3%	48.4%	88.9%	40.0%	43.6%	59.0%	1.0%	29.2%	37.9%

各業種別のアンケート回収率は、全体で37.9%、回収率の最も低かった鮭商を除いた回収率は、46.9%であった。

2 売上への影響について（仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）

	1 売上増加	2 売上減少	3 影響なし	無回答	計
水産仲卸	35 7.8%	78 17.3%	328 72.9%	9 2.0%	450 100.0%
青果仲卸	24 7.1%	43 12.7%	260 76.9%	11 3.3%	338 100.0%
水産買参	4 2.4%	34 20.7%	126 76.8%	0 0.0%	164 100.0%
青果買参	42 1.8%	718 30.5%	1,518 64.5%	76 3.2%	2,354 100.0%
水産小売	1 0.2%	131 31.7%	276 66.8%	5 1.2%	413 100.0%
鮭商	0 0.0%	12 60.0%	8 40.0%	0 0.0%	20 100.0%
関連	4 3.7%	46 42.6%	57 52.8%	1 0.9%	108 100.0%

売上への影響については、影響なしの回答が鮭商・関連を除き60%を超えている。売上減少は特に鮭商60%、関連42.6%であった。

3 経費への影響について

	1 経費が 増加した	2 経費は 減少した	3 影響は なかった	無回答	計
水産卸	0 0.0%	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%	9 100%
青果卸	3 21.4%	1 7.1%	8 57.1%	2 14.3%	14 100%
水産仲卸	29 6.4%	94 20.9%	322 71.6%	5 1.1%	450 100%
青果仲卸	39 11.5%	52 15.4%	234 69.2%	13 3.8%	338 100%
水産買参	12 7.3%	24 14.6%	122 74.4%	6 3.7%	164 100%
青果買参	160 6.8%	239 10.2%	1,566 66.5%	389 16.5%	2,354 100%
水産小売	31 7.5%	47 11.4%	278 67.3%	57 13.8%	413 100%
鮭商	6 30.0%	3 15.0%	11 55.0%	0 0.0%	20 100%
関連	6 5.6%	26 24.1%	73 67.6%	3 2.8%	108 100%

経費が増加したという回答は業種別では鮭商が30%と最も多く、減少したという回答は関連事業者24%であったが、各業種とも影響が無かったとする回答が、50%を超えている。

4 - 1 営業面からの4週8休の評価（卸売業者・仲卸業者）

	1 試行したことはよかった	2 特に問題はなかった	3 問題点が明らかになった	4 次回実施後評価	5 その他	計
水産卸	4 30.8%	3 23.1%	2 15.4%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%
青果卸	7 41.2%	6 35.3%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%	17 100.0%
水産仲卸	180 39.1%	185 40.2%	43 9.3%	49 10.7%	3 0.7%	460 100.0%
青果仲卸	131 34.7%	136 36.0%	16 4.2%	89 23.5%	6 1.6%	378 100.0%

営業面での評価については、試行したことはよかったという回答が全ての業種で30%を超えている。ただし、次回実施後に再評価するという回答も多く、水産卸では試行したことはよかったと同数である。

4 - 2 勤務面からの4週8休の評価（卸売業者・仲卸業者）

	1 試行したことはよかった	2 特に問題はなかった	3 問題点が明らかになった	4 次回実施後評価	5 その他	計
水産卸	4 36.4%	4 36.4%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	11 100.0%
青果卸	11 64.7%	3 17.6%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	17 100.0%
水産仲卸	183 40.8%	197 43.9%	14 3.1%	54 12.0%	1 0.2%	449 100.0%
青果仲卸	145 39.5%	133 36.2%	13 3.5%	72 19.6%	4 1.1%	367 100.0%

勤務面での評価については、試行してよかったという回答が30%を超えており、特に青果卸では60%を超えている。

4 - 3 4週8休の評価（売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）

	1 試行したことはよかった	2 特に問題はなかった	3 問題点が明らかになった	4 次回実施後評価	5 その他	計
水産買参	45 29.2%	75 48.7%	19 12.3%	13 8.4%	2 1.3%	154 100.0%
青果買参	468 21.7%	875 40.6%	426 19.8%	349 16.2%	35 1.6%	2153 100.0%
水産小売	39 10.3%	199 52.8%	74 19.6%	61 16.2%	4 1.1%	377 100.0%
鮭商	4 22.2%	5 27.8%	9 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%
関連	47 38.8%	24 19.8%	13 10.7%	35 28.9%	2 1.7%	121 100.0%

試行したことが良かったという回答は関連を除いて30%を下回っている。特に問題はなかったとする回答は、水産・青果買参、水産小売で高い。

鮭商についてのみ問題点が明らかになったとする回答が50%あり、そのほかの業種でも10~20%あった。

5 勤務状況について（卸売業者・仲卸業者）

	1 違いがあった	2 違いはなかった	無回答	計
水産卸	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%
青果卸	3 21.4%	9 64.3%	2 14.3%	14 100.0%
水産仲卸	37 8.2%	393 87.3%	20 4.4%	450 100.0%
青果仲卸	47 13.9%	276 81.7%	15 4.4%	338 100.0%

勤務状況については、ほとんどの回答が、違いが無かったとしている。

6 - 1 休市日の業務について（卸売業者・仲卸業者）

	1 業務しなかった	2 商品引渡し対応	3 その他業務	無回答	計
水産卸	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
青果卸	4 28.6%	1 7.1%	9 64.3%	0 0.0%	14 100.0%
水産仲卸	367 81.6%	59 13.1%	14 3.1%	10 2.2%	450 100.0%
青果仲卸	190 56.2%	117 34.6%	6 1.8%	25 7.4%	338 100.0%

休市日の業務については、業務しなかったとする回答が、青果卸を除いて50%～80%になっている。商品の引渡しについては、各業種とも実施しており、青果仲卸が34.6%、水産卸が22.2%であった。

6 - 2 休市日の業務について（売買参加者・水産小売業者・鮭商・関連事業者）

	1 店舗を休んだ	2 在庫商品で営業(販売)した	3 引渡しを受けて営業(販売)	4 その他	計
水産買参	78 51.3%	55 36.2%	5 3.3%	14 9.2%	152 100.0%
青果買参	407 20.0%	1,476 72.4%	90 4.4%	65 3.2%	2,038 100.0%
水産小売	39 10.7%	316 86.8%	5 1.4%	4 1.1%	364 100.0%
鮭商	5 20.8%	15 62.5%	2 8.3%	2 8.3%	24 100.0%
関連	90 81.8%	11 10.0%	5 4.5%	4 3.6%	110 100.0%

店舗を休んだ関連事業者が最も多く81.8%、続いて水産買参の51.3%となっている。営業した場合は、在庫商品での営業が多く、水産小売で86.8%、青果買参で72.4%、鮭商で62.5%であった。

20年6月4週8休型休市日試行に関するアンケート調査結果《概要》

1 アンケート回収状況

	水産卸	青果卸	水産仲卸	青果仲卸	水産買参	青果買参	水産小売	鮪商	関連	合計
回収数	12	15	506	326	179	2,301	551	133	153	4,176
対象者数	12	15	898	377	354	5,161	991	1,550	183	9,541
回収率	100.0%	100.0%	56.3%	86.5%	50.6%	44.6%	55.6%	8.6%	83.6%	43.8%

各業種別のアンケート回収率は、全体で43.8%、回収率の最も低かった鮪商を除いた回収率は、50.6%であった。

2 売上への影響について（仲卸業者・売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者）

	1 売上増加	2 売上減少	3 影響なし	無回答	計
水産仲卸	59 11.7%	178 35.2%	268 53.0%	1 0.2%	506 100.0%
青果仲卸	65 19.9%	71 21.8%	185 56.7%	5 1.5%	326 100.0%
水産買参	11 6.1%	56 31.3%	106 59.2%	6 3.4%	179 100.0%
青果買参	86 3.7%	826 35.9%	1,347 58.5%	42 1.8%	2,301 100.0%
水産小売	5 0.9%	207 37.6%	334 60.6%	5 0.9%	551 100.0%
鮪商	1 0.8%	46 34.6%	79 59.4%	7 5.3%	133 100.0%
関連	2 1.3%	84 54.9%	65 42.5%	2 1.3%	153 100.0%

売上への影響については影響なしと回答したものが50%を超えている。
売上減少は関連で54.9%であった。

3 経費への影響について

	1 経費が 増加した	2 経費は 減少した	3 影響は なかった	無回答	計
水産卸	0 0.0%	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	5 33.3%	1 6.7%	9 60.0%	0 0.0%	15 100.0%
水産仲卸	33 6.5%	160 31.6%	300 59.3%	13 2.6%	506 100.0%
青果仲卸	51 15.6%	64 19.6%	200 61.3%	11 3.4%	326 100.0%
水産買参	16 8.9%	45 25.1%	110 61.5%	8 4.5%	179 100.0%
青果買参	219 9.5%	377 16.4%	1,513 65.8%	192 8.3%	2,301 100.0%
水産小売	46 8.3%	63 11.4%	412 74.8%	30 5.4%	551 100.0%
鮪商	24 18.0%	11 8.3%	82 61.7%	16 12.0%	133 100.0%
関連	9 5.9%	36 23.5%	99 64.7%	9 5.9%	153 100.0%

経費が増加したという回答が最も多かった業種は、青果卸で3割であった。その他の業種では、「経費は減少した」、「影響はなかった」を合算した回答が7割を超えた。特に水産卸については、経費増と回答したものはなかった。

4 4週8休試行への評価

	1 試行した ことはよかった	2 特に問題 はなかった	3 問題点が 明らかになった	4 その他	無回答	計
水産卸	5 41.7%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	8 53.3%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
水産仲卸	229 45.3%	137 27.1%	108 21.3%	9 1.8%	23 4.5%	506 100.0%
青果仲卸	179 54.9%	85 26.1%	43 13.2%	3 0.9%	16 4.9%	326 100.0%
水産買参	57 31.8%	66 36.9%	34 19.0%	11 6.1%	11 6.1%	179 100.0%
青果買参	582 25.3%	722 31.4%	674 29.3%	112 4.9%	211 9.2%	2,301 100.0%
水産小売	66 12.0%	255 46.3%	167 30.3%	14 2.5%	49 8.9%	551 100.0%
鮫商	7 5.3%	50 37.6%	31 23.3%	6 4.5%	39 29.3%	133 100.0%
関連	40 26.1%	42 27.5%	53 34.6%	1 0.7%	17 11.1%	153 100.0%

青果卸と仲卸は試行したことはよかったと回答した割合が最も多く、4割を超えている。水産卸については、「試行したことはよかった」と「問題点が明らかとなった」が同数であった。

関連は問題点が明らかとなったと回答した割合が最も多く、3割を超えている。

5 勤務状況について（卸売業者・仲卸業者）

	1 違いが あった	2 違いは なかった	無回答	計
水産卸	7 58.3%	4 33.3%	1 8.3%	12 100.0%
青果卸	9 60.0%	6 40.0%	0 0.0%	15 100.0%
水産仲卸	148 29.2%	329 65.0%	29 5.7%	506 100.0%
青果仲卸	134 41.1%	169 51.8%	23 7.1%	326 100.0%

勤務状況の違いについては、卸では半数以上が違いがあったと回答した。仲卸では、半数以上が違いはなかったと回答した。

●「1 違いがあった」と回答した内容

	1 休みの日 が増えた	2 早出・残業 が減った	3 早出・残業 が増えた	4 休日出勤 が増えた	5 その他	無回答	計
水産卸	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
青果卸	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
水産仲卸	124 83.8%	6 4.1%	5 3.4%	10 6.8%	3 2.0%	0 0.0%	148 100.0%
青果仲卸	81 60.4%	3 2.2%	14 10.4%	34 25.4%	1 0.7%	1 0.7%	134 100.0%

勤務状況の違いの内容については、各業種ともに休みの日が増えたと回答した割合が最も多い。特に水産卸に関しては100%となっている。

また、青果卸・青果仲卸に関しては、休日出勤が増えたと回答した割合も3割前後あった。

6 - 1 休市日の業務について（卸売業者・仲卸業者）

	1 業務 しなかった	2 商品 引渡し対応	3 その他業務	無回答	計
水産卸	5 41.7%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	12 100.0%
青果卸	4 26.7%	1 6.7%	9 60.0%	1 6.7%	15 100.0%
水産仲卸	381 75.3%	61 12.1%	37 7.3%	27 5.3%	506 100.0%
青果仲卸	173 53.1%	112 34.4%	20 6.1%	21 6.4%	326 100.0%

休市日の業務について、卸では何らかの業務を行った割合が6割前後あった。
仲卸では5割以上が業務しなかったと回答しており、特に水産仲卸業者では、7割以上が業務しなかったと回答した。

6 - 2 休市日の業務について（売買参加者・水産小売業者・鮪商・関連事業者）

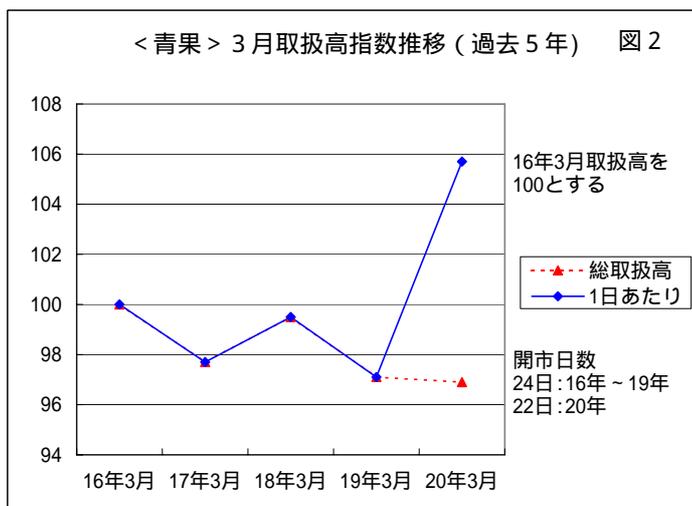
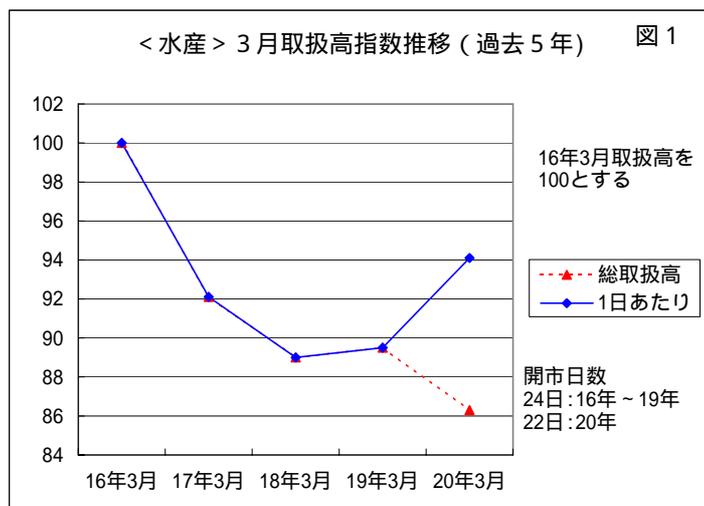
	1 店舗 を休んだ	2 在庫商品で 営業(販売)した	3 引渡しを受 けて営業(販売)	4 その他	無回答	計
水産買参	89 49.7%	52 29.1%	7 3.9%	13 7.3%	18 10.1%	179 100.0%
青果買参	430 18.7%	1504 65.4%	107 4.7%	64 2.8%	196 8.5%	2301 100.0%
水産小売	50 9.1%	453 82.2%	4 0.7%	8 1.5%	36 6.5%	551 100.0%
鮪商	9 6.8%	73 54.9%	27 20.3%	5 3.8%	19 14.3%	133 100.0%
関連	121 79.1%	3 2.0%	10 6.5%	6 3.9%	13 8.5%	153 100.0%

在庫商品で営業したと回答した割合が最も多かった業種は、青果買参・水産小売・鮪商で5割以上であった。

店舗を休んだと回答した割合が最も多かった業種は、水産買参・関連で5～8割程度であった。

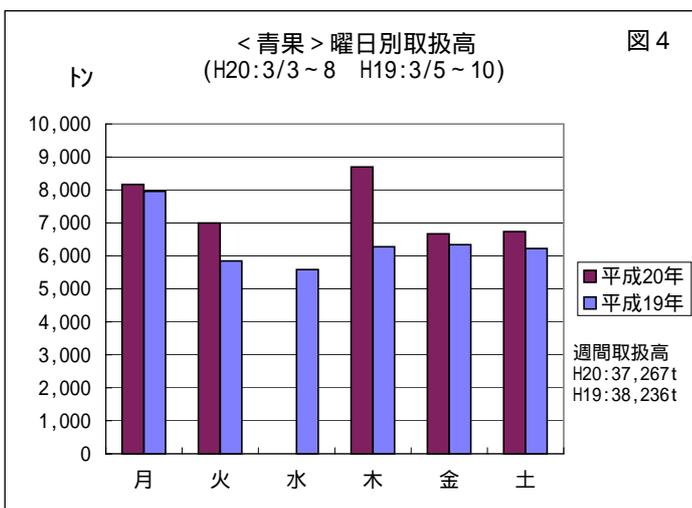
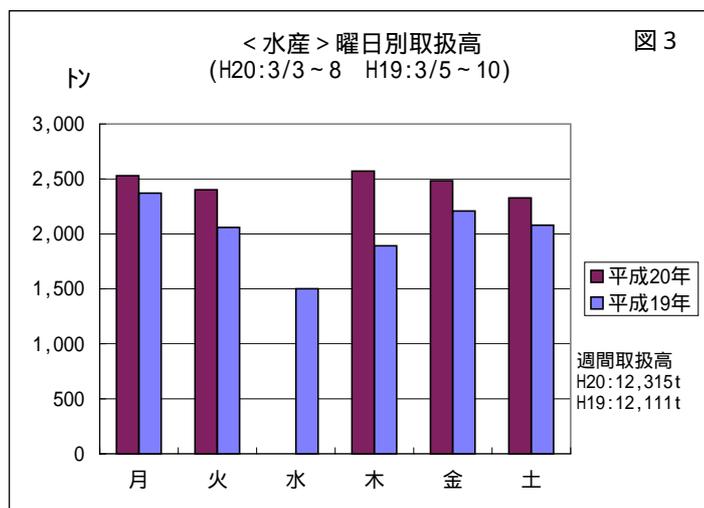
平成20年3月における4週8休型休市日試行時の取扱高実績

1 3月取扱高の推移 (図1・図2)



過去5年において減少傾向にあり、20年3月の月間取扱高に対する臨時休業日増加による影響は不明である。なお、臨時休業日増加に伴う取扱高への影響は、1日あたりの取扱高増によりカバーされている。

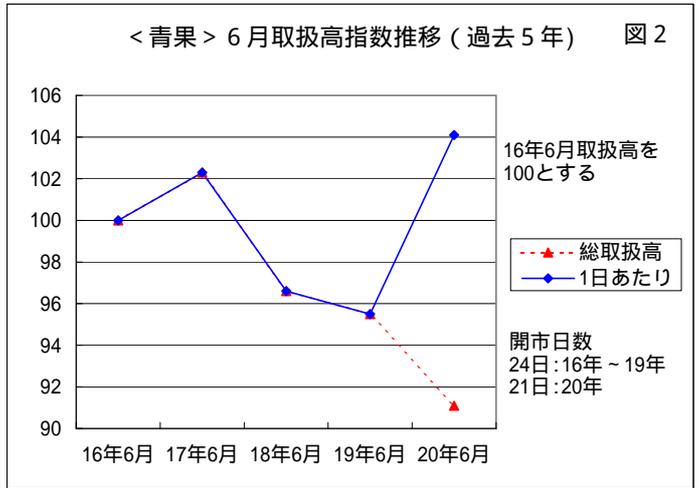
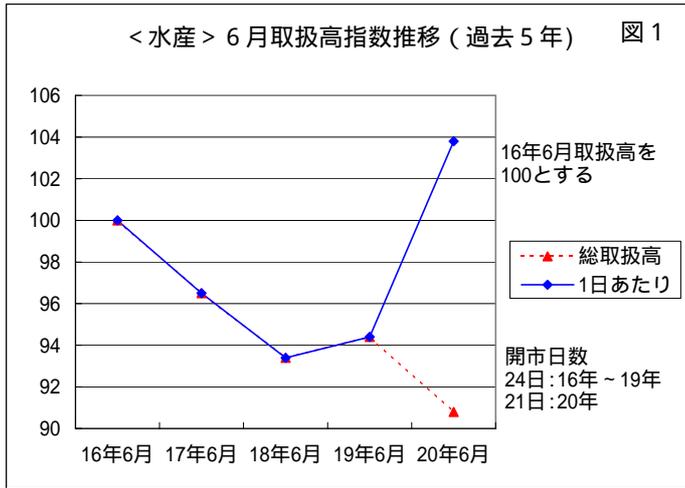
2 曜日別取扱高の対前年比較 (図3・図4)



19年の水曜日取扱分について、20年は木曜日を中心とした各曜日に取扱いが分散され、臨時休業日増加による週間取扱高の減少は認められなかった。(水産は微増 12,111t 12,315t)

平成20年6月における4週8休型休市日試行時の取扱実績

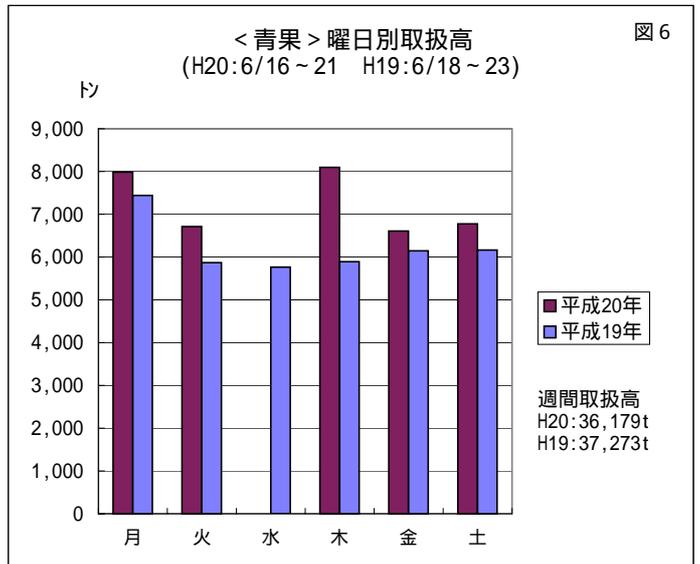
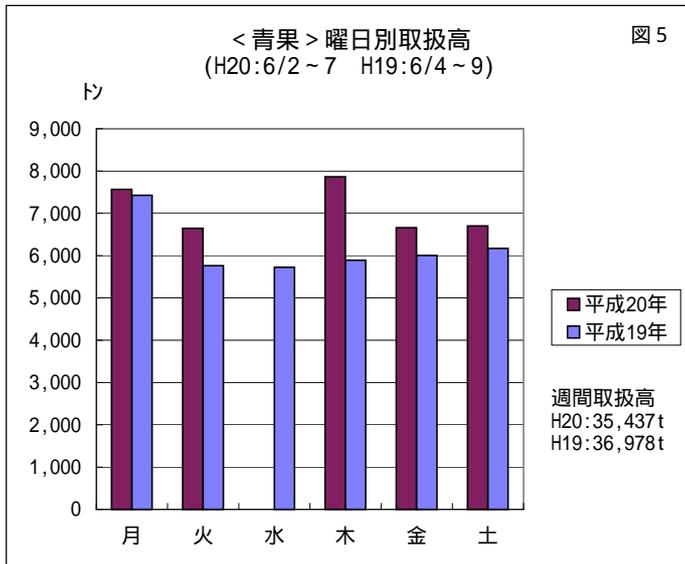
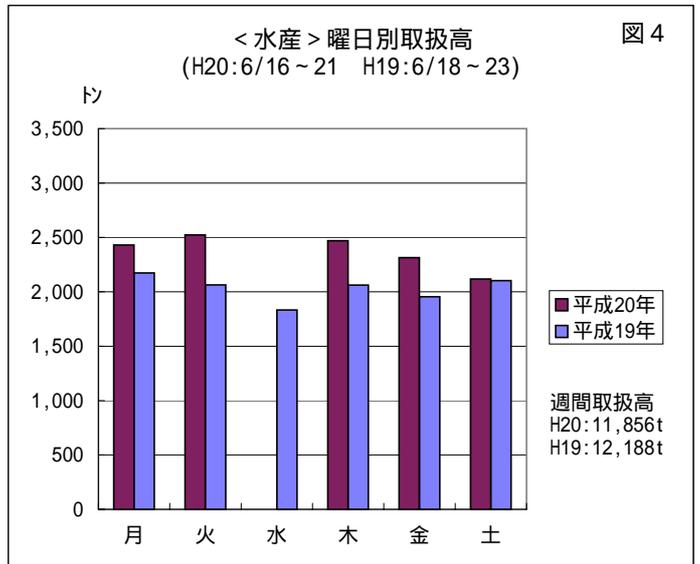
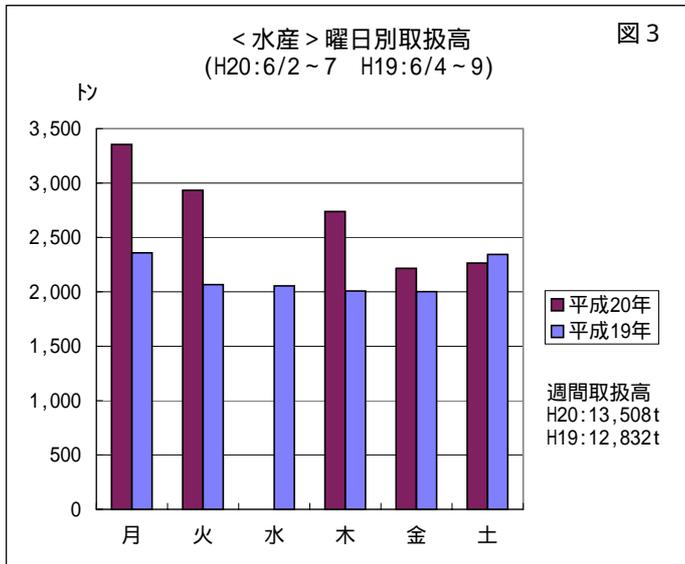
1 6月取扱高の推移 (図1・図2)



過去5年において減少傾向にあり、20年6月の月間取扱高に対する臨時休業日増加による影響は不明である。

なお、臨時休業日増加に伴う取扱高への影響は、1日あたりの取扱高増によりカバーされている。

2 曜日別取扱高の対前年比較 (図3～図6)



19年の水曜日取扱分について、水産は火・木、青果は木を中心とした各曜日に取扱が分散され、臨時休業日増加による週間取扱高の減少は認められなかった。(水産は微増 25,020t 25,364t)